

平成29年松江市議会予算委員会記録

1 日 時 平成29年3月13日（月曜日）午前9時58分開議
 2 場 所 本会議場

本日の会議に付した事件

- 議第 77号 平成28年度松江市一般会計補正予算（第5号）
- 議第 88号 平成29年度松江市一般会計予算
- 議第 89号 平成29年度松江市国民健康保険事業特別会計予算
- 議第 90号 平成29年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算
- 議第 91号 平成29年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算
- 議第 92号 平成29年度松江市介護保険事業特別会計予算
- 議第 93号 平成29年度松江市企業団地事業特別会計予算
- 議第 94号 平成29年度松江市公園墓地事業特別会計予算
- 議第 95号 平成29年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算
- 議第 96号 平成29年度松江市水道事業会計予算
- 議第 97号 平成29年度松江市下水道事業会計予算
- 議第 98号 平成29年度松江市ガス事業会計予算
- 議第 99号 平成29年度松江市交通事業会計予算
- 議第100号 平成29年度松江市病院事業会計予算

出席委員（31名）

岩 本 雅 之
 新 井 昌 禎
 長 谷 川 修 二
 柳 原 治
 芦 原 康 江
 吉 儀 敬 子
 橘 祥 朗
 野々内 誠
 森 本 秀 歳
 森 脇 幸 好
 貴 谷 麻 以
 野 津 照 雄
 川 島 光 雅
 石 倉 徳 章
 田 中 明 子
 畑 尾 幸 生
 吉 金 隆
 松 蔭 嘉 夫
 南 波 巖
 津 森 良 治
 森 脇 勇 人

宅 野 賢 治
 川 井 弘 光
 桂 善 夫
 篠 原 栄
 林 干 城
 片 寄 直 行
 三 島 良 信
 石 倉 茂 美
 三 島 進
 立 脇 通 也

欠席委員（1名）

比 良 幸 男

事務局職員出席者

事務局 長 樋 原 哲 也
 次 長 門 脇 保
 議事調査 二 村 眞
 課 長 田 中 孝 一
 書記 尾 添 和 人
 書記 福 間 紀 好

書 記 岡 田 美 穂
書 記 野 々 村 繁

説明のため出席した者

市 長	松 浦 正 敬
副 市 長	能 海 広 明
副 市 長	吉 山 治 治
政 策 部 長	星 野 芳 伸
大橋川治水 事業推進部長	古 藤 俊 光
総 務 部 長	三 島 康 夫
総務部次長	黒 田 研 治
防 災 安 全 部 長	多 久 和 正 司
財 政 部 長	講 武 直 樹
財政部次長	水 野 研 二
産 業 観 光 部 長	矢 野 正 紀
観 光 事 業 部 長	錦 織 裕 司
市 民 部 長	早 弓 康 雄
健 康 福 祉 部 長	井 田 克 己
環 境 保 全 部 長	山 内 政 司
歴 史 ま ち づ くり 部 長	藤 原 亮 彦
都 市 整 備 部 長	小 川 真
消 防 長	渡 部 正 夫
教 育 長	清 水 伸 夫
副 教 育 長	広 江 み づ ぼ
副 教 育 長	古 藤 浩 夫
上 下 水 道 局 長	渡 部 厚 志
上 下 水 道 局 業 務 部 長	山 本 哲 也
ガ ス 局 長	青 木 保 文
交 通 局 長	川 原 良 一
市 立 病 院 院 長	紀 川 純 三
市 立 病 院 事 務 局 長	安 部 裕 史

本日の欠席は、比良委員長です。

審査順序についてお諮りいたします。

審査順序につきましては、お手元にお配りしております案のとおり審査することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 御異議ないようですので、そのように決定いたします。

分科会長報告

○篠原副委員長 各分科会に審査を分担、委託しておりました議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算（第5号）」及び、議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」から議第100号「平成29年度松江市病院事業会計予算」まで議案14件を一括して議題とし、各分科会における審査について、それぞれ分科会長の報告を求めます。

吉金隆総務分科会長。

[吉金隆委員登壇]

○吉金総務分科会長 予算委員会から総務分科会に分担、委託されました議案7件につきまして、3月3日及び3月6日に分科会を開催し審査を行いましたのでご報告申し上げます。

議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算（第5号）」中は、質疑に対して執行部より、地方創生拠点整備交付金に係る中海振興事業については、大きく分けて施設整備事業とソフト事業の2つがある。施設整備事業としては、水陸両用機の昇降場、一時的に待機する駐機場、サイクルステーション、それに付属する建屋、トイレ、一般の駐車場などの整備を行うこととしている。ソフト事業としては、効果促進事業として、水陸両用機の普及関係、施設に係る備品整備などを行うこととしている。

コミュニティ助成事業については、今年度、本市から9件の申請を行い、そのうち5件が採択になっている。内訳は、市内3ヵ所の集会所の新築、雑賀町に設立される先人記念館の備品整備、枕木町町内会の備品整備である。

高齢者運転免許自主返納支援事業については、今年度、現時点で、既に514名の申請が出ている。支援の内容は、バスカード、コミュニティーバスの回数券、入浴回数券、電動アシスト自転車の購入補助の4つの中から選んでいただくというものであるなど

[午前9時58分開議]

○篠原副委員長 これより予算委員会を開きます。

の答弁がありました。

次に、議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」中は、質疑に対して執行部より、電源立地地域対策交付金の性質別内訳については、道路事業費に4.59%、施設等整備費に5.31%、改修費1.25%、人件費19.94%、維持管理経費55.2%、その他が13.72%である。

住宅新築資金等貸付金回収事業の債権回収については、早く回収できるよう、滞納整理要綱も定めており、国、県の補助金制度も活用しながら、専門の嘱託職員、隣保館職員等とも連携し、取り組んでいきたい。

選挙公報の配布状況については、先の参議院選挙の実績として、7万2,185世帯に配布しており、全世帯8万7,504世帯に対する配布率は82.49%である。今後も引き続き、各自治会に未加入者への配布をお願いするとともに、未加入マンション等についても直接配布することとしている。

同和団体への補助金については、部落解放同盟島根県連合会松江支部に対して69万3,000円、全日本同和会島根県連合会に対して11万6,223円である。同和会3支部については、今月末で解散するため予算化はしてない。

指定管理者制度における人件費については、基本的には、厚生労働省が調査した県内企業の平均給与を用いている。県内企業の賃金が上がれば、それを反映したものとなる。

共創・協働マーケットについては、民間事業所同士のビジネスマッチングの商談会のような形式を模した形で行っている。年に1回、一堂に会することによって、一緒にやるといふ共創のきっかけ作りをするというのが、このマーケットの本来の趣旨である。具体的な事例として、市民課で行っている結婚祝い事業は、マーケットで実った最初の事業であり、子育て世代への新広報事業も、初回のマーケットで実った代表例である。直近では、大橋川の関係で、宍道湖東岸エリアの水辺の利活用などに関する意見交換会は、まさしくこのマーケットをきっかけにして、本市の担当部と一緒に共創で取り組まれているものである。平成29年度は、市民の皆さんによる企画運営委員会を設立して、市民アイデアを取り入れながら開催したいと考えている。

防災士の資格取得のための補助制度については、

現在も存続している。平成28年度においては、3名の補助申請があり、概ね6万円程度の経費に対し、上限額2万円を交付している。地域の防災教育の担い手ということでは、防災士の資格者を今後ますます増やして、地域の防災力の向上を図っていかねばならないと思っている。専門的な知識もさることながら、地域のリーダーとして活躍していただける、あるいは今、地域防災指導員という制度も作っているが、その中でも指導的な働きをしていただけるということで、可能な限り増やしていきたいと考えているなどの答弁がありました。

次に、議第89号「平成29年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」は、質疑に対して執行部より、財政調整基金の残高については、平成29年度末に9億1,700万円余りになると見込んでいる。平成11年の国からの通知では、過去3年間の保険給付費平均額の5%相当額が、基金残高の目安とされていたが、これに基づく松江市では、5%相当額が7億円程度ということになる。

資格証及び短期証の発行件数については、平成28年10月で資格証が336件、短期証が1,060件となっているなどの答弁がありました。

次に、議第91号「平成29年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」は、質疑に対して執行部より、保険料に係る制度の改正について、低所得者の所得割については、法律上軽減はないが、現在特例として5割軽減となっている。これを平成29年度に2割軽減とし、平成30年度以降は本則に戻すものである。元被扶養者の均等割については、法律上、資格取得後2年間は5割軽減となっているが、現在特例として9割軽減となっている。これを平成29年度に7割軽減、平成30年度に5割軽減とし、平成31年度以降は本則に戻すものである。

短期証、資格証の発行件数については、短期証が現在発行しているもので60件、資格証は発行していないなどの答弁がありました。

次に、議第90号「平成29年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」、議第94号「平成29年度松江市公園墓地事業特別会計予算」、議第95号「平成29年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」、以上の議案3件につきましては、質疑はありませんでした。

以上で総務分科会の報告を終わります。

○篠原副委員長 これより総務分科会長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○篠原副委員長 質疑なしと認めます。

これをもって総務分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

津森良治教育民生分科会長。

〔津森良治委員登壇〕

○津森教育民生分科会長 予算委員会から教育民生分科会に分担、委託されました議案4件につきまして、3月3日及び6日に分科会を開催し審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算(第5号)」中は、質疑に対し執行部より、地域医療介護基盤整備事業については、募集に対して手を上げる事業者がいなかったという状況がある。特に看護師を必要とする施設は、職員の確保が難しいのではないかと考えている。新年度において募集していきたいと考えている。

看護小規模多機能型居宅介護については、第6期計画の中で一体的な施設として整備をしてきており、今後も推進委員会において、進捗状況などについて検討していきたいと考えている。

待機児童解消保育所整備事業については、創設は保育園が1件で72名、小規模保育園が1件で18名、増改築は1件で20名の定員増となる。

などの答弁がありました。

議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」中は、質疑に対し執行部より、待機児童の解消については、幼稚園の空き教室を使って一時預かりができるよう、施設改修をどの程度するかなどについて検討しているところである。また、同時入所の加点については、なるべく兄弟が同じところへ入所できるよう平成29年度から改正しているところである。

私立保育所保育士確保対策事業については、年度中途に入所枠を増やすための保育士の雇い入れにかかる費用を市が補助したり、定員を増やした保育所に対して県の制度を活用して補助を行うものである。

ひとり親の総合相談窓口については、相談件数が以前に比べて約4割ふえてきている状況であり、子どもの養育の関係や経済的な支援に関する相談を受けている。特に、離婚前の相談がふえているという

印象を持っている。

メディア漬けから子どもを守る健全育成事業については、引き続き各学校へ出かけ、講習や啓発活動を行っていくこととしている。加えて、乳幼児に対するメディア対策については、乳幼児健診などの場において保護者アンケートを実施しており、今後どのように対策をしていくかを検討中である。また、保育所等には、子どもとメディア対策協議会による、講演などの啓発事業を新年度から行っていきたい。

特別支援教育支援員及び特別支援学級介助員については、新年度は合わせて7名を増員することとしている。支援員については、全体の希望から見ると6割程度の配置であり、まだ支援員等が入っていない学校が複数ある状況である。

児童クラブの待機児童については、空き教室を改修して活用したり、遊休施設の活用ができないかなど、特に待機児童が出そうな校区において、今後も引き続き考えていきたい。

児童クラブの指導員については、確保が難しい状況がある。各クラブの運営委員会からも指導員の確保対策の要望を受けており、市としてもハローワークや教員OBの方々を通じて、人材の発掘、確保に努めているところである。また、指導員の加配については、エスコと協議をしながら実際に現場に行き、判定を行っているところではあるが、指導員にかかる負担も踏まえて、今後、考えていきたいと思っている。

女子高の魅力化プロジェクトについては、専修学校や大学などとの連携を通じての充実などを検討している。現在、プロジェクト会議を5回開催したところであり、方向性を集約し、近いうちに説明できる状況になると考えている。

学校給食については、PTAやJAの力を借りながら、一品運動といった取り組みを通じて組織づくりをすることにより、地産地消を推進していきたいと考えている。

避難行動要支援者支援事業については、新年度において名簿を管理するシステムの更新を行う予定である。

子どもの学力を高めていくことについては、市全体の底上げという視点も大切であると思っているので、教育委員会から何らかの情報発信を検討してみたいと考えている。学力向上のためには、学校の授

業はもちろんのこと、家庭学習もきちんとしてほしいと思っているので、市PTA連合会などを通じてお願いしていくことも必要であると思っている。

学校のトイレについては、階によってはまだ洋式トイレのない学校が複数ある状況ではあるが、年次的に設置していくこととしている。また、大規模改修時にあわせて洋式化を進めることとしている。

学校の非構造部材耐震補強事業については、現在8割程度進んでおり、平成32年度に完了を目指しているところである。

保育所の遊具の整備については、年次計画を立てて、1年以上使えない状況のところなどを優先して整備する計画である。

地域包括ケアシステムモデル事業については、実道ワーキングクラブの活動を情報発信したり、シンポジウムを行うものである。今後は、医療介護の連携強化として、民生児童委員をはじめとする地域住民との連携も考えていきたいなどの答弁がありました。

議第92号「平成29年度松江市介護保険事業特別会計予算」は、質疑に対し執行部より、平成29年度末における基金総額については、約3億円を見込んでいたとの答弁がありました。

議第100号「平成29年度松江市病院事業会計予算」は、質疑に対し執行部より、平成28年度の年間の延べ患者数については、入院が約13万1,000人、外来が約18万7,000人を見込んでいる。

平成29年度については、高度急性期病院として重症かつ高度な医療を必要とする患者を受け入れ、なるべく早期に退院していただくことを進めることにより、延べ入院患者数は減っていく見込みとしている。また、外来患者数については、がんセンターの診療開始に伴い増える見込みとしている。

薬品費については、平成28年度に比べて減っていく見込みとしている。これは、薬価の価格交渉などにおいて医師が積極的に関与する体制を整えたり、院外処方を進めることにより、一定の成果が出てきたものと考えている。

初診時選定療養費については約1,200万円、時間外選定療養費については約3,300万円、室料差額については、約1億2,000万円を見込んでいるなどの答弁がありました。

以上で、教育民生分科会の報告を終わります。

○篠原副委員長 これより教育民生分科会長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 質疑なしと認めます。

これをもって教育民生分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

川島光雅経済分科会長。

[川島光雅委員登壇]

○川島経済分科会長 予算委員会から、経済分科会に分担・委託されました議案5件につきまして、3月7日、8日に分科会を開催し、審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算(第5号)」中は、質疑に対し執行部より、国、県の補助金、交付金の決定時期と補正予算を提出する時期について、担い手支援事業については国の不採択が早い段階で決まったが、二次募集があったため、2月での補正となった。いろいろな事業で市民や生産者に補助金の募集をしているので、適切な時期に補正をし、新しい施策の進展が図れるように努力したい。

農地利用の集積に係る協力金が大幅に減額された理由については、国から県に対する交付が非常に圧縮されたことによるものである。集積の実績、目標については、平成27年度末の集積率が23%であり、これを平成35年度末までに57.8%にすることを目標にしている。

松江城の登閣者数については、国宝化で飛躍的にふえた平成27年度の53万人は下回るが、遷宮効果のあった平成25年度の42万人を上回り、今年度は49万人前後になると推計しているなどの答弁がありました。

議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」中は、質疑に対し執行部より、有害鳥獣による被害対策での捕獲については、猟期の11月から2月以外の対応となり、猟友会にお願いしている鳥獣捕獲員の捕獲となる。農林基盤整備課へ相談していただければ、猟友会と一緒に捕獲による対策を実施したい。

農地流動化推進事業の大規模集積については、一般的に認定農業者への拡大も考えられるが、農業法人あるいは集落営農組織を中心に集積をしていきたい。

学校給食用タマネギの地産地消推進、増産の計画があるが、使用量、使用率が落ち込んでいっている理由については、学校給食で使用するための規格にあったものがなかなかできなかったということと、病気が発生したことがあったことから、契約栽培が進まなかったことが挙げられる。今回、給食用タマネギを増産することにしたのは、契約農家が見つかったことと、タマネギは年中使われる食材であることからである。

漁場環境整備事業での藻場の造成支援について、藻場が減少している要因として、ウニ等の食害により磯やけが発生していることからその対策として、ワカメ等の種を付着させた小型の魚礁を適地に設置し、海藻が育つ環境を整えた後、アワビ等の種苗放流を実施する計画としている。

日本海沿岸漁業振興費の内訳については、鹿島・島根栽培漁業振興センターの運営事業費が約5,400万円、漁場環境整備事業費が610万円、地域水産振興事業費が150万円である。

ワカサギの放流については、毎年諏訪湖等からの卵を大野のふ化場でふ化させた後、放流しているが、近年は夏場の高水温が続いたことにより、漁獲量が伸びていない。要因については、県の水産技術センターで研究が行われているので、今後の動向を注視していきたい。

漁業者育成事業について、鳥取県と島根県との支援策に差があることについて、鳥取県では県と市町村とによる漁船リースへの支援策がある。今後、島根県では国が行う漁船リース事業で、国が補助する2分の1に上乗せ補助すると聞いている。市では、漁船リース事業を受ける漁業団体等に対して、網など設備等の面で補助をしていこうと考えている。

松江テルサの償還について、土地については平成29年度末で、建物については平成30年4月で終わる予定である。修繕については、現在、平成29年度、30年度、それと31年度以降の3段階に分けて更新計画を立てている。

インバウンド観光推進事業に関連する外国人観光客のニーズ調査については、旅行会社、ブロガーなどを招聘し、視察をしていただく中で聞き取り調査、アンケート等を実施しており、それを踏まえてPRしている。観光庁からも国・地域別のニーズなどの情報を入手している。山陰インバウンド機構、島根

県、これから設立予定の圏域のDMO等と連携しニーズの把握に努める。

外国人向けの体験メニューとしては、八雲の紙すき体験、着物体験、和菓子作りなどがあり、今後は気軽に体験できるメニューも開発し、PRしていきたい。

アイルランドとの交流事業については、オリンピックを機に交流をさらに積極的に進めていく自治体として、昨年6月にホストタウンに認定された。アイルランド大使館への訪問や、大使の招聘、アイルランドの青年の受け入れ等を予定している。キャンプ地誘致については非常に大事な事業であり、全庁挙げて取り組む事業だと思っている。政策部、スポーツ課と緊密に連携し、情報共有をしっかりと図っている。

松江城天守内の展示、改修については、平成26年3月に策定された天守保存活用計画の中で、展示品や展示ケースで建築的特徴が見えなくなっていること、松江に関係のない武具甲冑があること、耐震を考慮し展示総重量を軽量化しなければならないことなどが挙げられており、今年1月に外部委員会を設置し、展示、改修の検討をしてもらっている。今年度中に基本計画をつくる予定にしておき、平成29年度中に実施設計、展示工事、平成30年7月の完成を目標に取り組んでいるなどの答弁がありました。

議第93号「平成29年度松江市企業団地事業特別会計予算」は、質疑に対し執行部より、売却の状況として、第二卸商業団地の1区画については交渉を続けており、来年度売却にこぎつけたいと思っている。第二内陸工業団地は半分の分譲率を達成した状況である。分譲価格についての検討もしているが、交渉の中で一番言われるのは、価格よりも立地場所についてである。土地購入の引き合いが近年増えてきているので、ニーズを調査しながら売却を進めていきたい。

揖屋干拓工業団地の売却見通しについては、価格はまだ決まっていないが、インター近くの好立地であり、関西、山陽方面から引き合いが来ている。新年度、早速誘致活動に入りたいと思っている。工業用水の有無、下水道施設、農業集落排水などの問題などについては、売却単価も含めて平成29年度に総合的に検討し、また、揖屋干拓工業団地を目玉にして、対外的に売っていきたいと考えているなどの答

弁がありました。

議第98号「平成29年度松江市ガス事業会計予算」は、質疑に対し執行部より、修繕費がふえる理由については、メーターの交換時期によりメーターの購入が変動するという点がある。

学校、保育所等に設置されるGHPについては、更新、新設時にガス局へ発注してもらえれば25%安くなる。現行のGHPは、ガスのGHPに更新してもらえるよう、営業努力はさせていただいている。

機器の販売については、ガスサービスと一緒にやってきているが、エネファームについてはガス局で販売している。単位消費量を上げるため、浴室暖房やエネファームについて営業しているところであり、来年度からは営業の係を設けて、重点的に営業する。

コージェネレーションについては、市立病院、くまびきメッセ等で導入されている。ガスで発電してピーク時の電気をカットするという点で非常に効果がある。

災害対応のための支所、公民館の複合施設へのガス発電設備導入については、緊急バルクを設置することになったなどの答弁がありました。

議第99号「平成29年度松江市交通事業会計予算」は、質疑に対し執行部より、附帯事業である駐車事業の人員費が減った理由については、自動化に伴う効率化と、会計処理の担当が企業職(一)表の職員から企業職(三)表の職員に変わったためである。

変形労働時間制の導入による予算への影響については、結果的に超勤時間が縮減するとは思いますが、基本的には予算に影響を及ぼすものではないと思っている。

大型第二種免許取得に係る予算については、長期貸付金に計上している。平成27年6月の条例改正以降、この制度の利用があり、運転士確保の上で大変効果があつたと思っている。

定期運送での輸送人員の見込みについては、第二次経営健全化計画で、平成26年度の実績を維持していくとしており、来年度も同人数としている。

内部留保資金については、現在3億7,903万3,000円となっている。

企業会計や公会計の原則に立ち、市からの補助金を減額せずに、自由度のある内部留保資金を増加させる予算とすべきとの考えに対しては、一時的な貸

切業務の収益増の一定部分により市補助金を減額するという判断を行った。第二次経営健全化計画のローリングにより、一時的な収益増の後も踏まえて計画目標値の変更を行い、5カ年の収支見通しを毎年度説明し、これにより計画に基づき経営上支障のない内部留保は確保しているなどの答弁がありました。

以上で、経済分科会の報告を終わります。

○篠原副委員長 これより経済分科会長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 質疑なしと認めます。

これをもって経済分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

田中明子建設環境分科会長。

[田中明子委員登壇]

○田中建設環境分科会長 予算委員会において、建設環境分科会に分担、委託されました議案4件につきまして、3月7日、8日に分科会を開催し、審査を行いましたので御報告申し上げます。

議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算(第5号)」中では、質疑に対し執行部より、エコクリーン松江の売電収入について、売電の平均単価を19.5円、1,580万キロワットアワー余りを想定し、当初予算額として3億1,000万円を計上していたが、平均単価が15.9円程度で、1,550万キロワットアワーとなる見込みとなり、6,300万円を減額するものである。

減量対策事業費の減額補正については、燃やせるごみ、金属ごみ、資源ごみそれぞれのごみ袋の入札減によるもので、松江市内の業者が受注し、設計額の約62%の落札率となり、約4,600万円を減額するものであるなどの答弁がありました。

議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」中では、質疑に対し執行部より、エコクリーン松江管理運営費について、年度によって委託料の変動が大きいことから、平成27年度から11年間長期包括委託契約を結んで平準化をはかっており、毎年10億2,900万円余りを施設管理委託料として支出するものである。平成29年度は、これに排ガスの分析測定といった委託料なども含め10億8,600万円余りとなっている。

再生可能エネルギーの導入について、市の環境基本計画等の中で導入目標を定めて取り組んでいる状

況である。太陽光発電については、発電量が平成25年度では約2万3,000キロワットアワーであるが、計画目標年度である平成32年度の約4万6,000キロワットアワーを目標に取り組んでいる。

一般廃棄物処理施設、旧南工場については、平成23年にエコクリーン松江が稼働して廃止になっているものである。平成29年度は解体のための実施設計を行うものである。解体後、更地にして民間に売却をするという方向で検討している。

宍道湖・中海の水質改善について、縦割りになっている現状があることから、水質改善の技術開発に取り組む事業者や学識者と、国・県・市等の関係者が一堂に会し、年2、3回の会議の場を持つと調整をしており、総合的に縦割りを排除して、取り組んでいきたいと考えている。

重要文化財菅田庵保存修理事業費補助金について、国庫補助事業であり、国の補助率が85%、県、市、所有者がそれぞれ5%を負担するものである。

一畑バスの運行補助金について、赤字の補填を行うものであり、これまではブロック単価で補助金額を設定していたが、一畑バス単価により補助金を算出する方法に変更した。これにより一畑バスの単価の方が高いため増額となったものである。

JR松江駅前整備検討事業費について、駅の北口から大橋川までのエリアを対象に検討を行っていただいている。駅前のタクシー乗り場、バス乗り場を含めてどうあるべきかについても、検討がおこなわれているなどの答弁がありました。

議第96号「平成29年度松江市水道事業会計予算」では、質疑に対し執行部より、中小の水道事業者が簡易水道を統合し、非常に経営が厳しい状況になることを総務省や厚生労働省に対して、国の専門委員会などで訴えている。こうした中、総務省の高料金対策繰出金や簡易水道の建設改良に係る起債償還に対する交付税措置について、10年間の緩和措置が設けられたが、厚生労働省には引き続き簡易水道エリアについて従来どおりの国庫補助対象としていただく要望活動を強化していきたいと考えている。

水道事業の広域連携については、流域単位（自後訂正）での一元化を考えると、松江市の場合、県の企業局との垂直統合、そして周辺の出雲市、安来市、雲南市及び斐川宍道水道企業団との一体的な水平統合が考えられる。広域連携を行うことで水の安定供

給や、災害時の水の融通も可能となるとともに経営基盤の強化も図ることができると考えているところである。県及び関係する事業者と連携しスケジュール感を持って推進していきたいと考えているなどの答弁がありました。

議第97号「平成29年度松江市下水道事業会計予算」では、質疑に対し執行部より、浸水対策について、今後整備が必要な箇所としては、平成18年に浸水被害が起きた宍道町昭和地区において、水路の勾配が確保できないことから、将来的にポンプ場を設置しなければならないところがあるが、当面の対策として、平成29年度事業でマンホールポンプを取り付ける対策を講じることとしている。また、玉湯町の国道9号から北側の区域については、国土交通省が湖岸堤の整備を実施しなければ浸水対策ができないといった課題が残っている状況であるなどの答弁がありました。

以上で、建設環境分科会の報告を終わります。

失礼しました。議第96号の中で、水道事業の広域連携については、「流域単価」と申し上げましたが、「流域単位」でございます。訂正してお詫び申し上げます。

○篠原副委員長 これより建設環境分科会長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 質疑なしと認めます。

これをもって建設環境分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

討論、表決

○篠原副委員長 これより討論、採決を行います。討論、採決は、議案番号順に1件ずつ行います。

議第77号「平成28年度松江市一般会計補正予算(第5号)」の討論に入ります。

意見はありませんか。

森脇勇人委員。

○森脇(勇)委員 議第77号、平成28年度の松江市一般会計補正予算につきまして、賛成の立場で意見を述べさせていただきますと思います。

今回、国の経済対策に呼応しました32億8,592万2,000円の主なものは、学校教育施設整備事業の14億9,944万8,000円を初めとする佐太幼稚園の改修事

業費であったり、保育所整備事業費補助金、消防本部の調査整備事業費など各省庁事業分が29億8,592万2,000円計上されています。また地方創生拠点整備交付金該当事業として水上飛行機の推進事業費3億円でございます。また決算見込みによる整理予算をマイナス5億6,947万9,000円とした補正額27億1,644万3,000円を計上したものでございます。

今回の補正予算は、国の経済対策としての大型補正でございます。平成29年度中に事業完了が望まれるものであり、施設整備についてはしっかりと計画のもと、速やかに地元企業に発注が行われ、地域の経済活性化につなげていただきたいと思います。

また水上飛行機の推進事業については、私どもも調査、推進してきた経緯もあり、中海振興事業とともに地域の活性化に寄与するよう、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。以上です。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第77号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第77号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

吉儀委員。

○吉儀委員 議第88号 平成29年度一般会計予算について反対の立場で討論いたします。

第1に、いわゆる原発交付金の使途の問題です。経常経費に多く充てられております。防災・安全対策に重点的に充てるべきです。

第2に、中枢拠点都市構想や定住自立圏構想に立ち、道州制の実態づくりを地方の側から進めていることです。中核市移行はそれを後押しする危険性があります。

第3に、プライバシーの侵害や成り済まし犯罪を常態化させるマイナンバー制度の一層の推進を図る内容となっています。

第4に、市民団体への補助金算定に格差があり、

公平性に欠けることです。これは同和問題を特別扱いしているため、差別解消のためにも特別扱いをなくすことが必要です。

第5に、保育所待機児童の解消は努力されてはいますが追い付かず、保育士の処遇改善も不十分です。

第6に、教育分野では点数至上主義となっている学力テストの実施と、自衛隊の本質を隠した中学生の職場体験の実施が盛り込まれていることです。

以上、6点の理由で反対いたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

森脇勇人委員。

○森脇（勇）委員 議第88号「平成29年度松江市一般会計予算」について、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

平成29年度は、政策的経費を抑えた骨格予算が計上され、平成28年度予算に33億円の投資的経費を計上したため、予算総額は昨年度に比べ46億600万円の減となっていますが、総合戦略関連事業費は100事業、約35億8,351万円が計上されており評価をいたします。

少し意見を言いますが、一般財源総額につきましては、地方交付税、地方消費税交付金の減額に対応し、臨時財政対策債や減収補填債を発行し、必要な一般財源総額を確保されており、厳しい財政運営となっております。地方消費税交付金については、変動要素の大きい財源となっているとともに、交付税制度における補填措置がありません。今後国に対して交付税制度の見直しについてしっかりと要望していただきたいと思います。

中核市移行における準備経費については、国からの特別交付に対して、多額の準備経費がかかるため、しっかりと精査され執行されたいと思います。

保育料軽減の取り組みについては、市と県の負担により、国基準の1人当たり35万8,000円を18万8,000円まで軽減しています。大変評価する内容ですが、松江市の子ども1人当たりの保育にかかる費用は、平均で約110万1,000円であり、91万3,000円を公で負担しています。費用はこれが当たり前と受け止められぬよう、しっかりと市民に子育て環境を説明し、松江市の努力を示していただきたいと思います。

東京オリンピック、パラリンピックホストタウン推進事業については、アイルランド交流事業とともにキャンプ地誘致に向けて、全庁を挙げて連携を密

にして取り組まれたいと思います。

また新農業委員会制度への移行については、活動に支障のないよう指導されたい。

有害鳥獣捕獲奨励事業については、最近被害が拡大してきており、十分な活動支援に努められたい。

中海・宍道湖の水質改善の取り組みについては、水質改善に取り組む様々な団体がありますが、現状としてそれぞれが個別で取り組んでいる状況があります。団体同士の横のつながりを確保し、認識を同じくして数値目標に取り組まれるよう働きかけていただきたいと思います。また市の各部署も連携を図って取り組んでいただきたいと思います。

JR駅前整備事業については、松江の玄関口にふさわしく、観光客はもとより市民の利便性が図れるよう取り組まれたい。

市道整備事業費については、地元要望に応えた生活道路や舗装整備であり、着実に実行していただきたい。

以上、意見を述べまして賛成意見とさせていただきます。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

石倉徳章委員。

○石倉（徳）委員 議第88号 平成29年度一般会計について賛成の立場から意見を申し上げます。

今回の予算は、骨格予算でありますけれども、930億6,700万円を確保されまして、これは6月の補正を含めた本格的な予算あるいは先ほど話のありました平成28年度の補正予算、いわゆる経済対策の32億8,000万円を計算いたしますと、かなり積極的な予算として評価をしているところでございます。

そういう中で歳入におきまして、地方交付税の14億円の減収あるいは電源立地地域対策交付金関係の2億1,000万円の減、そして財調の取り崩しが毎年増えておりますが、7億円を計上していらっしゃることを思いますと大変厳しい財政の中だと思えます。

そういう中で第一次総合戦略の推進をされており、あるいは大橋川関連事業、そして待機児童の問題が全国的に問題視されている中で、私立保育園運営費62億8,600万円と前年比4.8%の増あるいは障がい者福祉サービス費が56億1,700万円とこれまた4.8%増など時の流れ、時代の要請に応じて予算を計上そして予算を配分されております。

また中核市移行準備予算につきましても、地方分

権ということを考えられまして着々と準備を進められており、名実ともに松江市を山陰の中核都市としてそして選ばれる松江市に向けての事業を推進されており評価すべきものと考えております。

それをもちまして我々は、以上の点からこの会計予算に賛成であります。以上でございます。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第88号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手多数であります。よって議第88号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第89号「平成29年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

吉儀委員。

○吉儀委員 平成29年度松江市国民健康保険事業特別会計予算については、県下一高い保険料のため滞納状況は解消せず、無慈悲な保険証取り上げを行っています。

一方国保会計の財政調整基金は、平成28年度末でも平成29年度末でも9億1,700万円ものため込みです。

国保料を1世帯1万円引き下げるとは、直ちに決断すべきであり反対いたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第89号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手多数であります。よって議第89号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第90号「平成29年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第90号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第90号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第91号「平成29年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

吉儀委員。

○吉儀委員 議第91号「平成29年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」については、国の制度改悪を受けて所得割5割軽減を2割軽減に引き下げ大幅な負担増とするものであり、反対をいたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第91号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手多数であります。よって議第91号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第92号「平成29年度松江市介護保険事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第92号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第92号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第93号「平成29年度松江市企業団地事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第93号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第93号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第94号「平成29年度松江市公園墓地事業特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第94号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第94号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第95号「平成29年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第95号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第95号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第96号「平成29年度松江市水道事業会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

吉儀委員。

○吉儀委員 議第96号「平成29年度松江市水道事業会計予算」については、平成30年1月からの水道料金引き上げを含むものであり、反対いたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

森脇勇人委員。

○森脇(勇)委員 水道事業会計におきましては、簡易水道事業の統合を控えております。粛々と会計

の統合に向けて、そして市民サービスの行き届くよう取り組んでいただきたいと思います。賛成でございます。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第96号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手多数であります。よって議第96号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第97号「平成29年度松江市下水道事業会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第97号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第97号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第98号「平成29年度松江市ガス事業会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第98号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第98号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第99号「平成29年度松江市交通事業会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第99号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手全員であります。よって議第99号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

議第100号「平成29年度松江市病院事業会計予算」の討論に入ります。

意見はありませんか。

吉儀委員。

○吉儀委員 議第100号「平成29年度松江市病院事業会計予算」は、公立病院としての理念に反する時間外選定療養費と初診時選定療養費を徴収しており、反対いたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

石倉徳章委員。

○石倉（徳）委員 議第100号、市立病院事業会計でございますが、賛成の立場で意見を申し上げます。

この予算は、本医療圏域の中核病院として、また高度急性期病院としての役割を果たさんとされておりまして、健康づくりとかあるいは各種健診事業に力を入れていらっしゃる予算でございますし、また特筆すべきは、国民の2人に1人ががんにかかるというような状況の中で、その撲滅のため官民を超えて、あるいは国、県を超えて今その対応がなされている中でございまして、がんセンターの開設ということがあります。時宜を得た事業でありまして、特色ある病院として出発をされるわけでありまして、そういうことを願いながら、そうした事業予算でございますので賛同を示し、賛成をいたします。

○篠原副委員長 ほかに意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○篠原副委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第100号を採決いたします。

本案について、原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○篠原副委員長 挙手多数であります。よって議第100号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

これにて予算委員会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

[午前11時04分閉会]